

レビュー×レビュー



『世界の美しさをひとつでも多く見つけたい』

石井 光太

石井光太氏は、医療、戦争、文化などをテーマに海外の貧困問題から国内の災害や事件まで、幅広いテーマで作品を発表し続けている人気ルポルタージュ作家です。

石井氏は、デビュー作である『物乞う仏陀』をはじめ、他の作品においても、一般に危険だとかつらいと言われる場所を舞台として取り上げています。「そんな悲しい場所へ行ったところで、つらいだけではないですか。」それは、あくまで決まりきった角度からしか現実を見ていないからだと言います。

ほんの少し視点を変えるだけで人生は輝く。世界がひっくり返るほどの感動をしたからこそ、なんとんでも人にそれを伝えたい。見方を変えれば、どんな貧しい人も「人間の美しさ」や「希望」に満ちていると言えるのではないのでしょうか。この本では、そんな人々が紹介されており、いかなる惨状の中でも希望を見出し生き抜く人間の生命力は計り知れないものだと感じました。

25 生 三山 まりに



『動物のお医者さん』

佐々木 倫子

『動物のお医者さん』、このタイトルを見てもみなさんはどのような内容を想像するでしょうか。獣医さんが動物の命と向き合っていくお話だと思われた方も多いのではないのでしょうか。

実はこの漫画、コメディなんです！獣医学部の大学生、周りの友人や動物たちのドタバタコメディ漫画です！主人公のハムテルの周りの人たちはそろいも揃って変人ばかりです。ネズミが苦手どころか残念な友人の二階堂、何もかもがとろい院生の菱沼さん、豪快で理不尽で常識外れな漆原教授など…。怖い顔だけどとってもいい子でやさしい犬のチョビもとてもかわいいです！

私は気分が落ち込んだ時にこの漫画を読んで元気をもらっています。実はこの漫画は私たちが生まれる前に出版されたものです。しかし、今でも人気で昨年には愛蔵版も出版されました。気になった人がいたらそちらもお勧めします！！

25 生 大塚 侑奈

「この本は、飛翔編集部のおすすめの本や映画を紹介しながら、少しでも興味を持ったそののあなた一せひ手に取ってみては…？」





『現代中国を知るための50章』
高井 潔司、藤野 彰、遊川 和郎

大学生になって時間にも多少の余裕ができた今、普段読まないジャンルの本にも手を出してほしいと思います。

今回私が紹介するのは、「〇〇(国名)を知るための××章」というシリーズの本で、特に外国への旅行・留学を考えている人にオススメです！現在七十冊以上のシリーズが出版されていますが、このシリーズの特徴は数ページからなる独立した章をまとめて本にしたものである、ということです。そのため目次を見てから、知りたい分野についてのみ読んだり、気になるところから読んだりできます。

気になる国の実情を知るためには非常に有用なシリーズです、ぜひ出発前に目を通して下さい！

25 生 渡邊 恭平

〈映画〉マルサの女
伊丹十三監督／宮本信子主演

税務署(のちに国税局)の調査官である主人公と、脱税を繰り返す大物経営者たちとの駆け引きが魅力の映画です。

誰でも聞いたことのある怪しげなメロディーの中、宮本信子のチャーミングな演技が冴えます。最近では「あまちゃん」のヒロインの祖母役を演じた宮本は、この作品に続いた「マルサの女2」、「ミンボーの女」、「スーパーの女」などでもそれぞれに千変万化のキャラクターを演じきった名女優。

スリルあり、情けあり、必ずスカッとする作品。少し古い邦画を観てみようかな、と思ったらぜひご覧下さい。

25 生 新垣 さくら



『海の底の考古学 水中に眠る財宝と文化遺産、そして過去からのメッセージ』
井上 たかひこ

海に沈んだ古代の遺跡、と聞くだけでわくわくしてくる人におすすめの一冊です。著者は、沈没船や海底都市などを調査する「水中考古学者」。黒船やクレオパトラの海中宮殿などをどのように発見したのか、調査する上で何が困難だったかなどが、実際の調査体験に基づいて書かれています。「海底の難破船探いをいつかはしてみたいと夢見て」いたという著者が、いかにして水中考古学者として活躍するようになったかというエピソードも載っています。

分厚い専門書ではなく、手軽に読めるページ数と文体が特徴です。文体は雑誌に連載されたものをまとめてあるため、全く堅苦しくありません。写真はモノクロですが、豊富に掲載されているのが嬉しいところ。ロマンがむぎゅっと詰まっています。

25 生 丸本 千枝